

研究課題名 「小児溶連菌感染後糸球体腎炎の臨床的特徴の調査」

2012年4月1日～2021年3月31日の間に九州大学病院小児科、福岡市立こども病院腎疾患科、福岡赤十字病院小児科で溶連菌感染後糸球体腎炎と診断され、治療を受けられた患者さんへのお知らせ

課題名：溶連菌感染後糸球体腎炎患者の臨床的特徴の調査

研究の目的や意義

小児期発症溶連菌感染後糸球体腎炎患者の臨床経過、治療、予後を明らかにし、肉眼的血尿と予後の関連を明らかにすることを目的としています。

研究の対象者

2012年4月1日～2021年3月31日の間に、当院において溶連菌感染後糸球体腎炎と診断され治療を受けられた患者さんを対象にします。

研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、担当者までご連絡ください。

研究の方法

この研究を行う際は、カルテより以下の情報を取得し、情報を匿名化した上で、統計的手法を用いて解析を行います。

[取得する情報]

患者背景（年齢、性別、既往歴、症候）、臨床経過（入院時、外来受診時、最終観察時）、検査結果（血液検査結果、尿検査結果、画像検査結果、腎生検検査結果）、治療、予後

既存資料を用いた後方視的研究であるため、新たに試料採取はいたしません。

研究期間は倫理委員会承認日～2028年12月31日の予定です。

個人情報の取り扱い

研究対象者の情報をこの研究に使用する際には、研究対象者のお名前の代わ

りに研究用の番号を付けて取り扱います。

この研究の成果を発表したり、これを元に特許等を申請したりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、福岡赤十字病院小児科・鷺尾 真美の責任の下、厳重な管理を行います。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。譲歩の開示を希望される方は、ご連絡ください。

試料や情報の保管等

この研究において得られた研究対象者のカルテの情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られた研究対象者の情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。将来新たに計画・実施される医学研究に用いる場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

利益相反

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社など）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。

今回の研究は、資金を伴わずに行われる研究であり、利益相反はありません。

研究に関する情報や個人情報の開示

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

また、ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

問い合わせ先

担当者：福岡赤十字病院 小児科 鷺尾 真美

TEL: 092-521-1211

FAX: 092-522-3066